

水害を受けたハウスカオンの処置について

ハウスカオンが冠水した場合、原則として電装部品を交換する必要があります。

【重要】冠水した場合は、まずはお買い上げの販売店や最寄りの弊社営業拠点、

または弊社カスタマーセンター室まで必ずご連絡ください。

ただし、以下の要領で救済される場合もあります。作業の前に注意事項を熟読のうえ、対処をお願いします。

※復旧してもその後に不具合が発生し、使用できなくなる場合もあります。
※電装部品のみでの交換にとどまらず、機器の入替が必要になる場合もあります。



点検・整備を行うまでは、絶対にハウスカオンの電源を入れしないでください。
ハウスカオンの電源が入っている場合は、すぐにハウスの元ブレーカーを切ってください。

作業手順

1 泥水につかった部分は、電装部品・本体内外を問わず、乾燥する前にホース等で清水をかけて、泥・土等をきれいに洗い流してください。

※水につかっていない部分には絶対に水をかけないでください。

※乾いてしまった場合は、そのまま点検をご依頼ください。



本体



* 送風機も忘れずに水洗いしてください。

缶体内部・バーナ部



* バーナはノズルをはずさずに分解し水洗いしてください。バーナ送風機が外せる場合は外して中の水を取り除き、十分に乾かしてください。

煙室部



* 煙室パッキンも交換してください。

2 水洗後は、バーナ送風機を外したまま、制御盤等も開放し **20 日前後自然乾燥**を行って、十分に乾燥させてください。

HK25型



HK27・27V型

制御盤内前面



* 前面・後面とも水洗いしてください。

制御盤内後面



3 20 日前後経過後、バーナ回り・電装回り（制御盤等）の部品が乾いていることを確認したら、やわらかい毛ブラシなどで、泥や汚れを丁寧に落してください。

4 ご購入窓口へ点検・整備を依頼してください。



この時点でも、電源は入れないでください。ショート・感電の危険があります！
電源は、電気工事店さんなどで漏電がないことを確認してもらった後に投入してください。

ご不明な点などありましたら、お近くのJA・販売店・弊社営業拠点までご連絡ください。